PALISO 戸塚パルソ

横浜支部 ㈱日創設計 夏目 栄治

まい、何度か大幅なプラン変更が発生したため 計画変更の手続き、現場への変更の指示などの 調整等の対応に追われづくしのプロジェクトに なりました。

■計画概要

用 途:銀行

構 造 鉄骨造8階建

建築面積 270.56㎡ 延床面積 1848.82㎡

再開発個別ビルゾーンの銀行店舗を担当しました。

プランについて

- ・建物の用途が公的要素の高い銀行ということで 「人へのやさしさ」をテーマにバリアフリー、ユニバーサルデザインを強く意識して設計に取り 組みました。またお客さまだけではなく行員の方にも快適な空間で業務ができるように心がけました。
- ・プランの構成でセキュリティが重要なポイントに なるため銀行とは度重なる打合せをおこない明 確なセキュリティゾーンに配慮しました。
- ・当計画は既存2店舗が統合され新店舗に集約するため2店舗からの要望・意見を調整しながらプランニングを進めました。しかし店舗内に入る部署の選定がなかなか決まらず時間がかかってし

外観について

外観について3つのテーマを考慮しました

- ①再開発による「まちづくりルール」の取り入れ
- ②企業CI(Corporate Identity)の表現
- ③銀行の建物として落ち着きある雰囲気を出す「まちづくり」として個別活用ゾーン内の建物の調和。歴史の街、戸塚宿らしさをコンセプトにアドバイザーである大学の先生の意見を取り入れ、色彩の統一、アクセントカラーの導入、看板の制限など「まちづくりルール」を作成しました。しかし「まちづくりルール」と「企業CI」で相反する点が多々あり「歴史感と現代感の感性の違い」を調整することに苦労しました。

外観デザインは縦連窓サッシにより縦ラインを 強調しシンプルで重厚感のある列柱のイメージと し落ち着きある雰囲気の演出をおこない銀行に大 変満足してもらっています。



8号棟外観